○○　○○　様邸耐震診断結果概要報告書

令和　　年　　月　　日

診断士氏名　○○　○○

診断士所属建築士事務所名　○○建築設計

1　住宅耐震診断に用いた診断プログラム名

達人診断

2　診断結果

評点（Iw 値）	0.68

評点は、現在の建築基準法で定められている最低限の強さを「1.0」としたときの強さの比率を表したもので、評点が大きくなるほど地震に強くなります。

診断には、鳥取県が推奨する診断方法で実施しています。より詳細な調査・計算を行うことで、評点が変わる場合があります。

3　結果の考察

震度__5強__で　倒壊・(大破)・中破・小破　の恐れがあります。

※被害の程度は裏面を参照ください。

【耐震改修チャート】（　）の中の数字が評点を表します。

震度 / 被害	5弱	5強	6弱	6強	7
無被害	(1.0)	(1.3)			
小　破	(0.4)	(1.0)	(1.3)		
中　破		(0.7)	(1.0)	(1.3)	
大　破		(0.4)	(0.7)	(0.7)　(1.0)	(1.3)
倒　壊			(0.4)	(0.4)	(0.7)　(1.0)

【出典】井戸田秀樹、嶺岡慎悟、梅村恒、森保宏：在来軸組木造住宅における一般診断の評点と損傷度の関係耐震改修促進のための意思決定支援ツールに関する研究（その１）

4　耐震改修概算費用

評点 1.0 以上になるように耐震改修する概算工事額（税込）

・５０万円未満　　・１００万円未満　(・)１５０万円未満　・２００万円未満

・２５０万円未満　・２５０万円以上

・概算額を提示しない（主な理由：　　）

この金額は概算額であり、実際の工事費を保証するものではありません。

お住まいの__倉吉__市では、耐震改修設計及び耐震改修工事に係る補助制度があり、**耐震改修設計では最大 32万円、耐震改修工事では最大 175万円補助を受けることができます。※上記補助額は、令和10年度までの期間限定です。**

被害の程度

	被害の様子	修復の可能性と被害状況
無被害		**ほぼ無被害** ● 仕上げのモルタル、漆喰などに軽微なひび割れが発生する場合がある。 ● 壁紙にしわが寄ることがある 変形 1cm以下
小破		**継続使用可・軽微な補修要** ● 部分的なタイルの剥離 ● 窓周辺のモルタルなどにひび割れ ● 壁紙の部分的破損 ● 瓦のずれ、部分的落下 変形 1～5cm
中破		**多くの場合避難生活** **かなりの修復費用が発生** ● 外壁の剥離、脱落 ● 窓、扉の開閉不具合 ● 内装仕上げの剥離 変形 5～10cm
大破		**避難生活・修復困難** ● 内外装の激しい剥落 ● 大きな柱の傾き ● 窓、扉の損壊 ● 余震による倒壊の可能性 変形 10cm以上
倒壊		**命を落とす危険性大** ● 室内空間がなくなる ● 近隣への影響大 ● 火災発生の可能性大

※ 変形 揺れているときに家全体が横方向に変形した大きさを意味します。